

# 日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を

## 声をあげよう！高校生署名推進ニュース

2025年2月11日 号外

高校生平和ゼミナール全国連絡センター [tokyo-heisemi@peace.nifty.jp](mailto:tokyo-heisemi@peace.nifty.jp)

### 3.26&3.27 外務省へ署名提出・国会議員要請、パレード 署名1万筆を達成、さらに1人でも多くの署名を！

#### 12.15 署名推進オンライン交流会

12月15日に署名推進オンライン交流会が開催され、各地から70人以上が参加しました。ノーベル平和賞授賞式から帰国したばかりの児玉三智子さん（日本原水爆被害者団体協議会の事務局次長）が「みなさんにはもっともっと大きな力がある。一緒に取り組みましょう」と高校生を激励しました。原水爆禁止日本協議会の前川史郎さんが「核兵器禁止条約の意義と課題」について報告。静岡、東京、愛知、広島、沖縄、埼玉からの活動報告のあと、京都から平和ゼミ再開にむけて準備しながら署名活動に取り組んだことが報告され、大きな拍手がおこりました。最後は今年4月に平和ゼミが結成された福井から500筆を目標に頑張りたいという発言がありました。

交流集会の最後に、各地の高校生平和ゼミアールなど10団体の共同アピール「日本政府は核兵器禁止条約第三回締約国会議にオブザーバー参加してください」という要請文を決議しました。



#### 愛知高校生平和ゼミナール

12月27日に日本キリスト教団名古屋中央教会の牧師の竹内さんから戦争中の宗教弾圧についてお話を伺ったあと、栄（名古屋市中心部の繁華街）で署名活動を行ないました。高校生のKさんは「不安もありましたが、頑張っ  
てねと声をかけてくれて嬉しかった。これからも頑張りたい」と述べています。愛知が集めた署名は目標の500筆に近づいています。（落）



#### 広島高校生平和ゼミナール

広島の最近の署名活動としては、12月15日に元安橋の上で行いました。他県の方の署名も多く、外国から来られた方も署名に応じてくれました。12月21日には、原爆被爆者相談員の会の主催による被爆者問題講演会がありました。日本被団協・事務局次長の濱住治郎さんが、「『原爆被爆者の基本要  
求』策定40年～ノーベル平和賞を喜びだけで終わらせない～」と題し、講演されました。その後、平和ゼミが活動報告して、署名やカンパも訴えました。1月6日には、デパートの前で署名活動を行い、1月26日には退職教職員  
の会の集まりのオープニングで署名とカンパを訴えました。

現在1225筆集まり、3月の東京には3～5名参加できるように取り組んでいます。（望）

#### 沖縄・静岡・福井・東京・京都でも署名が増えています

沖縄は現在4100筆を超えています。静岡は1600筆を集約しています。福井の高校生も頑張っています。

東京は1月6日に被爆者や日本原水協の行う新春の署名行動（有楽町マリオン前）に参加、1月18日に原宿で署名活動を行いました。現在3600筆を超えています。京都では1月19日に平和ゼミを再建・結成しました。

## 要請文を外務省の首席事務官に

12月19日に東京の高校生4人が外務省にいき、軍備管理軍縮課の首席事務官に「日本政府は核兵器禁止条約第三回締約国会議にオブザーバー参加してください」という要請文を手渡しました。要請文を読み上げたあと、「日本政府も核兵器のない世界をめざすという報告性は私たちと一致している、そのための第一歩としてオブザーバー参加してほしい」「核兵器禁止条約について説明すればたくさんの方が賛同してくれる」「いま核兵器の脅威が高まっており、核兵器の廃絶は一刻を争う重要な課題です。日本が核兵器を禁止する姿勢を示すことは当然の責任です」と訴えました。

同行した被爆者の山田玲子さんは、広島で被爆した体験を語り、核兵器廃絶にむけて日本政府が行動することを求めました。



内閣総理大臣 石破 茂 様

### 核兵器と戦争のない世界をめざす私たち高校生は訴えます。 日本政府は核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加してください。

私たち高校生平和ゼミナールは平和や社会問題について学び交流する高校生の平和学習サークルです。毎年広島や長崎で全国高校生平和集会を開き、原爆遺跡を見学したり、被爆者の証言を聞いたりしています。被爆者の方は、自身の辛い過去を、将来、同じように苦しむ人が生まれないようにという思いで語ってくれます。私たちは被爆者の話を聞くたびに核兵器の恐ろしさを再認識し、核兵器のない未来を目指して行動しようと決意を新たにします。

私たちは2021年1月に核兵器禁止条約が発効されたことを受けて、同年7月から、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める「声をあげよう！高校生署名」に取り組み、2022年8月19日に全国で集めた署名13,642筆を外務省に提出しました。しかし、「核抑止論による平和は本当の平和ではない」「日本は戦争被爆国として核兵器廃絶に向けたリーダーシップを発揮すべき」といった私たちの訴えは政府には真剣に受け止められなかったようです。私たちは再び街頭で、地域で、学校で、この署名を集めています。

世界に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵攻では核兵器が脅しに使われ、「駆け引き」として用いられています。また、中東ではイスラエルがイランの核施設を標的にしており、アメリカのトランプ次期大統領もそれを支持する姿勢を示しています。そして、中国は2030年までに1000発以上の核兵器を保有するといわれています。核抑止論が破綻していることは明らかです。さらに、今の核兵器の威力は広島・長崎に投下されたものよりもずっと威力が大きく、もしもそれが、たとえ誤射であっても、投下されたら世界中の人びとが大きな被害を一生受け続けます。そのことは被爆国である日本はよくわかっているはずです。

今年のノーベル平和賞に日本被団協が選ばれました。彼らの人生を賭けた語り部活動に敬意を表すると同時に、現在の核をめぐる現状に大きな危機感を感じていることの表れだと思えます。

もうすぐ戦後80年を迎えますが、これまでに一度も核兵器が落とされていないのは、彼らが核兵器の恐ろしさを世界中に語り広げていったからです。証言活動を続けられる被爆者の方がどんどん少なくなっている中で、いま私たちにできることは世界から核兵器を廃絶し、永久に核の恐怖から脱することができるよう、行動を起こすことです。

私たちは、日本政府が来年3月に開かれる核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバー参加することを強く求めます。

北大西洋条約機構（NATO）加盟国であり米軍の核兵器が配備されているというドイツですら、オブザーバーとして参加しました。日本が参加しない理由はありません。オブザーバー参加して参加国や市民の声を聞き、この条約に署名・批准し、核兵器廃絶のための重要な一翼を担ってください。

2024年12月15日

埼玉高校生平和サークルPeace Wing 東京高校生平和ゼミナール

福井高校生平和ゼミナール 岐阜県高校生平和ゼミナール エバーグリーン静岡

愛知県高校生平和ゼミナール ふりそでの少女像をつくる会（京都）

広島高校生平和ゼミナール 幡多高校生ゼミナール（高知） 沖縄高校生平和ゼミナール